



地域を育み、
大陸をつなぐ
国際ロータリー会長
レイ・クリンギンスミス

Rotary International

週報



国際ロータリー第2750地区多摩中グループ
東京国分寺ロータリークラブ

— 親睦と奉仕活動の原点を大切にするロータリアン —

2010~2011年度 会長 大平 恵吾

Vol45 No.37 平成 23年 4月 26日

第2180回 例会 報告 — 4月26日 —

本日の司会

川畑 SAA 副委員長

第2180 回例会

点	点
18:00	18:00
18:05	18:05
18:10	18:10
18:15	18:15
18:20	18:20
18:25	18:25
18:30	18:30
18:35	18:35
18:40	18:40
18:45	18:45
18:50	18:50
18:55	18:55
19:00	19:00
19:05	19:05
19:10	19:10
19:15	19:15
19:20	19:20
19:25	19:25
19:30	19:30
19:35	19:35
19:40	19:40
19:45	19:45
19:50	19:50
19:55	19:55
20:00	20:00



ロータリーソング

『我等の生業』

お客様紹介

大平 会長

○橋本恭宏様（日本大学大学院(法科大学院)
法務研究科専攻主任教授)

ニコニコボックス

高橋正昭親睦委員長

大平会長・桑原幹事：①濱中・高橋丸
の出航準備を祝して、②橋本先生を
歓迎して、ニコニコいたします。



会長の時間

大平 会長

3週間後の5月17日、我がクラブは
創立45周年を迎えます。45年前の
昭和41年は、その2年前の昭和39
年に東京オリンピックが開催され、ま
た新幹線が開通し、社会が上向いて
いた時代でした。



チャーターメンバーの小川重行会員は40歳台の働き盛りで
ありました。同じくチャーターメンバーの富永義博会員は、
若々しい青年弁護士でありました。また、当クラブで1番若い
昭和43年生まれの子川俊和会員はまだ生まれていませんで
した。このことから考えて、45年間という期間がとても長いと
いうことがわかります。皆さん、自分の45年前を振り返ってみ
て下さい。残念ながら、古川会員は振り返っても45年前を見
ることはできません。

大震災と原発事故のためにお祝いの行事を簡素なものにし
ました。盛大であれ、簡素なものであれ、45周年を祝うことが

意義深いものであることに変わりはありません。全員、厳粛な気
持で創立45周年を祝いたいと思います。どうぞよろしく願
います。

幹事報告

桑原 幹事

①4月26日(火)例会は10時30分から
Lホールで開催、卓話は日本大学大学
院教授の橋本様にお話をさせて頂きます。
午後からは、17回45周年事業委員会
を開きます。



②5月10日(火)ニコニコネット交通安全活動の予行演習を行
います。

③5月10日(火)例会で、45周年記念式典に向けたクラブ協
議会として内容等を含めたものを協議します。

④5月17日(火)45周年記念式典と祝宴飛鳥ホールで開きま
す。役員は16時集合、受付開始16時30分、開演17時

⑤5月24日(火)例会で長期計画クラブ協議会

⑥5月31日(火)例会で全体会議(各委員会事業報告)

⑦5月11日(水)~5月20日(金)交通安全運動期間での社会
奉仕活動としてニコニコネットで各地域での見守り活動に参加
するので宜しくお願いします。

委員会報告

出席委員会

酒井出席委員

会員数 42名 免除 6名
メーキャップ済み 3名
欠席 4名 出席率 88.89 %
<前々回の修正> なし



卓話

○講師紹介:長尾プログラム副委員長

橋本先生は日本大学大学院(法科大学
院)法務研究科教授で法学博士であ
れ、「日本教育法学会理事」、「学校安



全と子供の人権に関する研究特別委員会委員長」などもつとめられております。著書も沢山あります。今回の社会奉仕との関係の中では、非常に適切なお話を承れるのではないかと思います。

○講 師:日本大学大学院(法科大学院)
法務研究科 教授 橋本 恭宏 様
「学校教育の安全と自己分析から見えるもの」

私は日本大学大学院で、専門は民法をやっております橋本といいます。

3月11日に東日本大震災がありました。このことも踏まえて学校の安全、子供の安全をどう考えて行くべきかということを我々の研



究会でも取り上げております。我々の研究会は、2008年度から文科省からお金を頂いて「学校の安全と安心を保障する体制取り組みの国際比較研究」を3年間やって来ました。今までに全国の教育委員会、各学校などにアンケートを行い、その資料集を作成、また国際比較の調査を2009年度にニューヨークで行うなど、国際比較の資料もまとめました。

私は学校の安全、子供の安全を考える時に事故・事件というものは必ず起きる。起きた時にどうするかこれが大事だと私は言い続けてきました。3月11日の大津波について、想定外という言葉が沢山出て来ました。しかしこれは想定外ではないです。実際には我が国では、地震が来ることは当たり前のことで東北地方では何度も大津波の被害を受けている。古文書にも載っている。来るだろうと云うことはある程度分っており、被害にあった小学校ではマニュアルがあった。津波が予想される時、子供達を校庭に集め、整列して逃げる、父兄に返す。ということだったが、父兄に返して逃げた子供達は、津波に巻き込まれた。帰れず学校に残った子供達は助かった。こういうことから我々としては学校の安全を今後どうするかという問題に大きな教訓を得ました。

子供達にとって安全、安心は切実な問題であります。それは、昨今のいじめ問題、虐待問題、健康上の安全にさらには不審者問題などがあり、これは単に生命、身体、健康上の安全に留まらない。子供達がこのような不安感を常時抱えながら学んでいる現実がある。子供の安全問題では、防火シャッターの誤作動による圧死事故、公営プールの排水口に子供が吸い込まれた事故など、子供にとって安心して生活できない環境が周りを取り巻いている。そこでは、子供の特性や目線に合わせた安全な環境づくりが必要であります。そのためには設置者に対して子供に合わせた安全な環境を整備させる安全基準または安全指針をつくるのが重要であります。学校管理下の子供の災害(月額5,000円以上の医療費支給件数)は、平成21年度で204万件に達している。少子化で子供の総数が減少しているが、学校災害の医療給付件数は戦後一貫して右肩上がりであり、その

量的な増加は深刻であるだけでなく、子供の災害は現代において社会問題の中心を占めるに至っています。

実際に子供の安全でということが事故になっているかという、一つ目はいじめ苦の自殺というのが非常に目立った形で起きております。二つ目は施設事故です。プールの吸排水口、防火シャッター、エレベーターの事故、三つ目は不審者乱入・誘拐殺傷事件であります。2001年に起きた池田小学校事件は大きな社会問題となったが、不審者侵入事件は年間50件くらい起きている。誘拐や監禁事件なども各地で起きている。四つ目は相次ぐ震災と防災・保全で東日本大震災、能登半島地震、中越地震、阪神淡路大震災などを教訓に耐震強度不足問題など緊急の課題である。五つ目は武道必修化を前にした柔道の事故が多発しており、この安全対策が課題であります。

池田小学校事件は、国立の小学校で起きたことから設置者である国が事故被害について責任を認め、政府として再発防止の意思を明確にした合意書を交わした。この事件後基本的にきちんと対策を立てて来たのか、これのひとつの表れが学校保健安全法という法律だろうと思う。ここには防犯という点では条文の中には作られているが起こってしまったどうするか。ここで大事なのは、学校安全の計画をきちっと立てる、これはそれぞれの学校が立てるべきか、学校がそれぞれ立てるということは、実は文科省が通知・通達行政の中で行って来たことです。通達を出して現場で何とか解決しなさいと言っているのです。さあ、やっぱり先生はガードマンかと言うことです。そうじゃないだろう、やはり、国が基本的に子供達を守るのだ、特に子供達を守るということを国がちゃんとした姿勢で示すことが大事だと思う。そのためには現場に依存せず、大きな指針、安全基準を国として立てて貰えればと考えています。もう少し細かく言えば、現場の中での安全計画、安全指針を立てて行く。つまり、国が安全法を立て、それぞれ地方自治体が安全条例をつくり、それを前提に各市町村長がそれぞれ具体化するための条例をつかって、そして国として子供達を安全に育てるという姿勢を示すことが大事だろうと思います。こう言いますと国にばかり全部責任を負わせるということになるかもしれませんが、しかし、大きな姿勢としてリーダーシップをきちっと、とるべきなのは国であろうと思う。そしてそれを受けた形で市町村長または都道府県がそうした安全の基準、安全指針または安全計画を立てて行くことが必要なのです。

国際ロータリー 第2750地区 多摩中グループ

東京国分寺ロータリークラブ

会 長 大平 恵吾 幹 事 桑原 哲也
会報委員長 小向 将介 副委員長 中島 米治郎

事務所・例会場 東京都国分寺市南町3-20-3 国分寺ターミナルビル 8階
Tel.042-322-6480

編集・印刷 (株)スプリングフィールド 国分寺市本町3-8-12 Tel.042-320-5601
URL: <http://kokubunjirc.exceed-net.co.jp>